



藤見泰高

令和元年は本当に色んな事がありました。人生で数回しか体験出来ない様な良いこと・悪いこと・嬉しいこと・悲しいこと・・ 悲しいこと・・・その時に感じた感情の全てを「大巨蟲列島」で爆発させていきますっ!



廣瀬周

去年の蟲の思い出は、仕事場のス ダレに蜂の巣ができたことでした。幸 いにも、まだ小さかったので自分で処 理できましたが、それでも肝が冷えま した。



(TI)

第6話

第7話

第8話

初出/マンガクロス 2019年9月~12月掲載 https://mangacross.jp

> ※この作品はフィクションです。 実在の個人・団体・事件等には 一切関係ありません。





今までのお話

修学旅行中に旅客機が墜落し、孤島に漂着した織部睦美。だが島は 巨大昆虫の巣窟と化していた。仲間たちと共に島からの脱出に成功し た睦美たちだったが、新たに到着した辰野神島もまた、巨大昆虫が発 生していた。妹を助けてほしいと頼む島民の南雲の頼みで島の社へと 向かう睦美たちだったが……!!

3

41

81

119































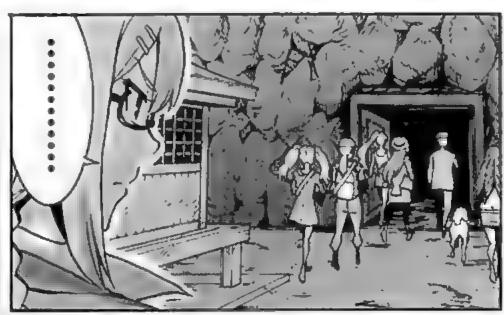








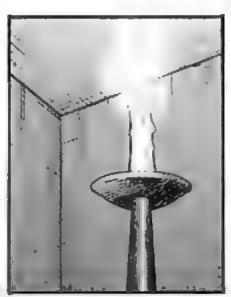


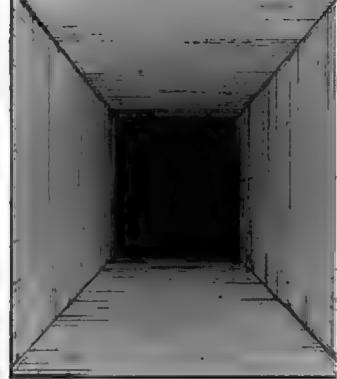


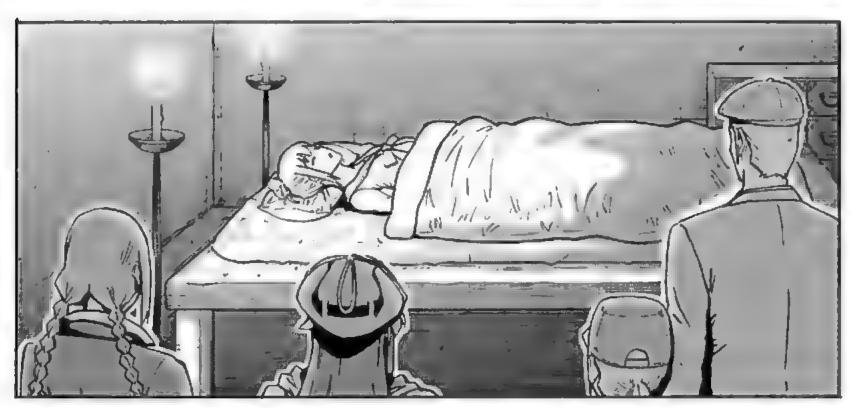


















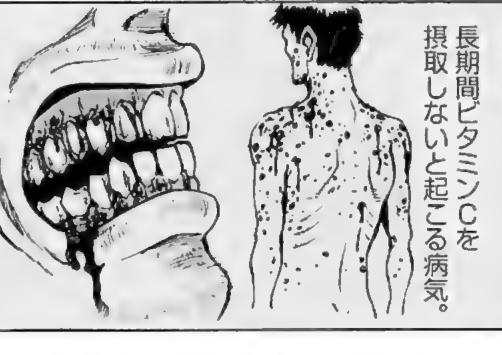








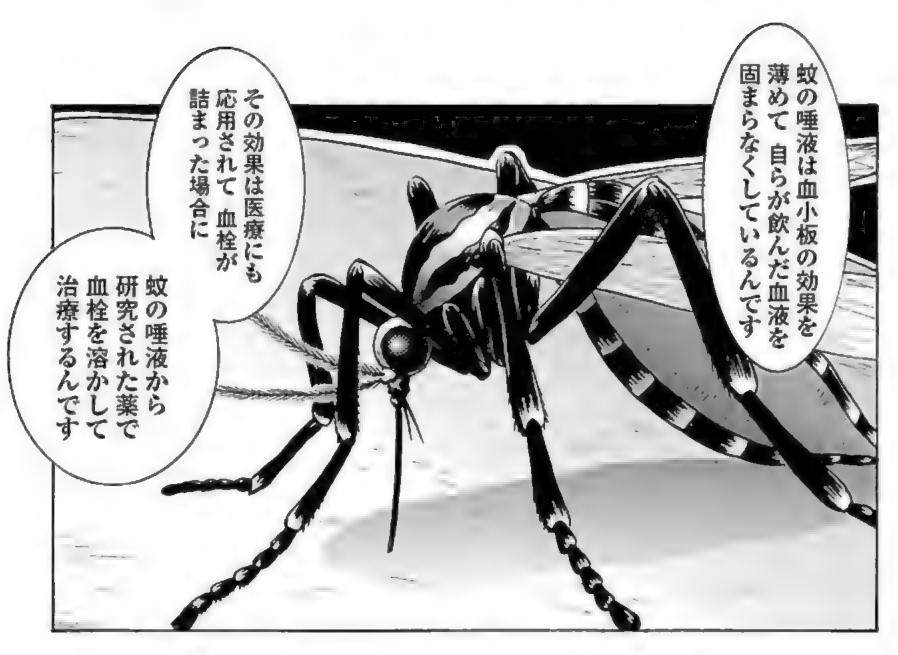
を 出血し止まらなくなる。 出血し止まらなくなる。 悪化すると歯茎や



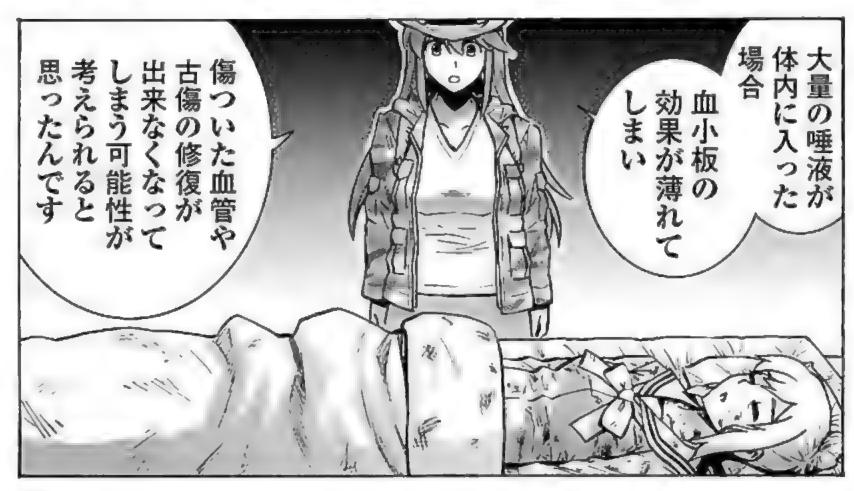




壊血病





























































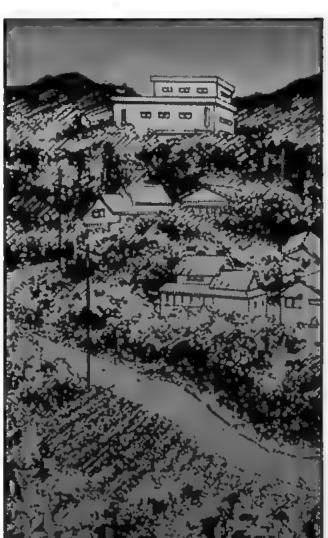


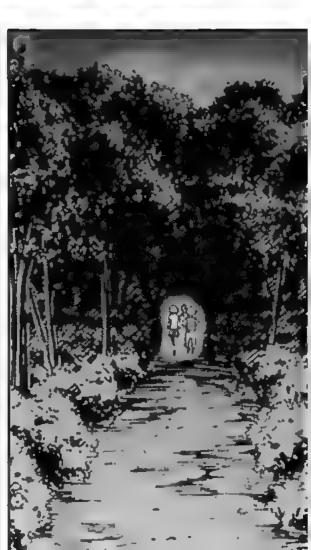




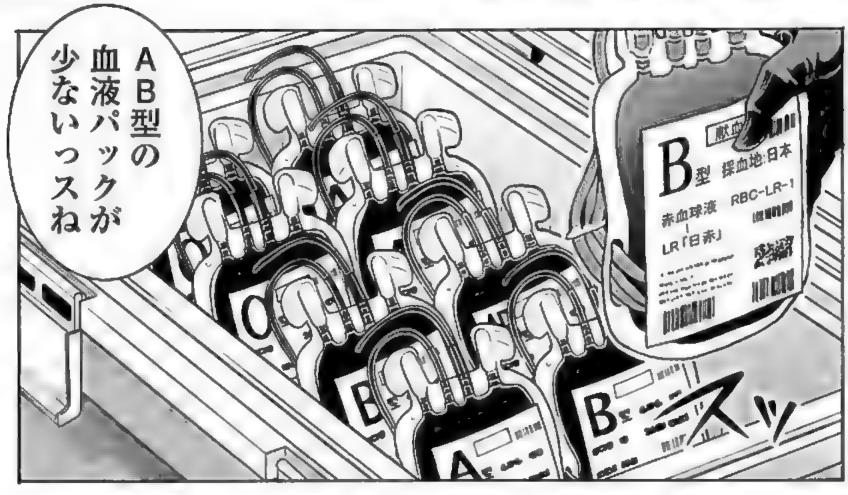










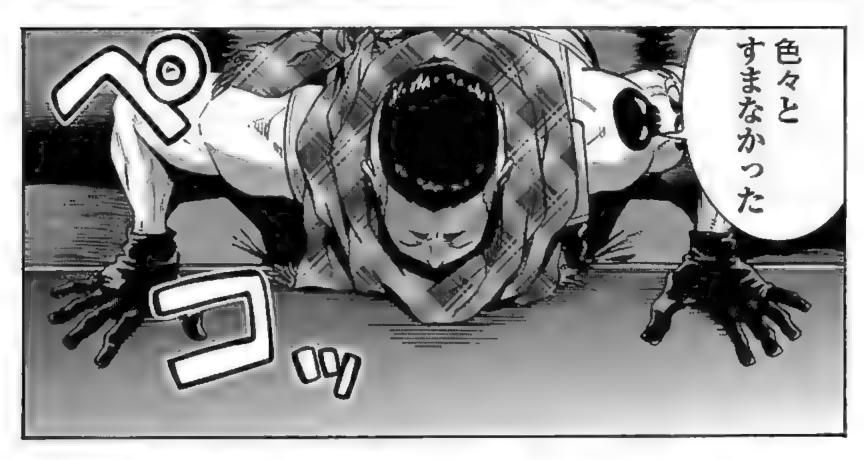












































※殴ってやろうかの意











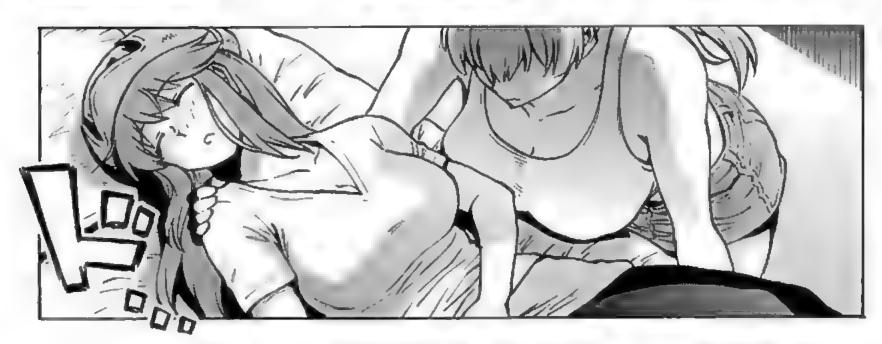














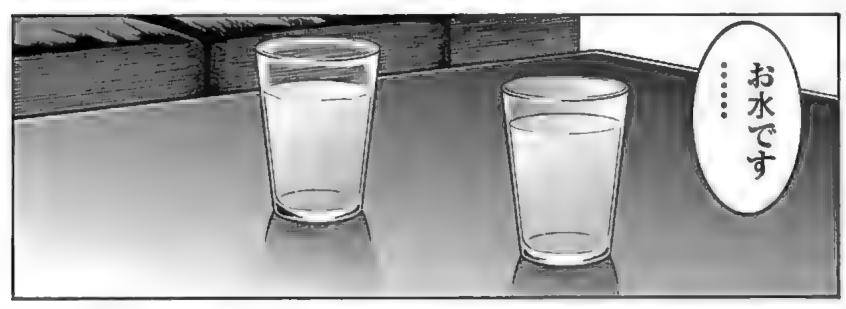
















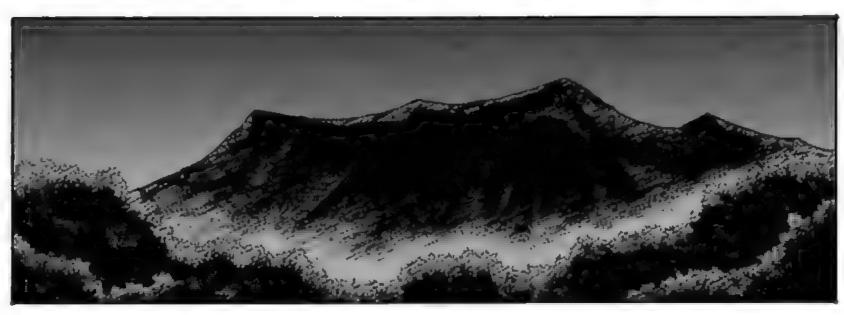










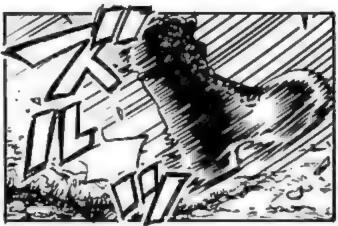




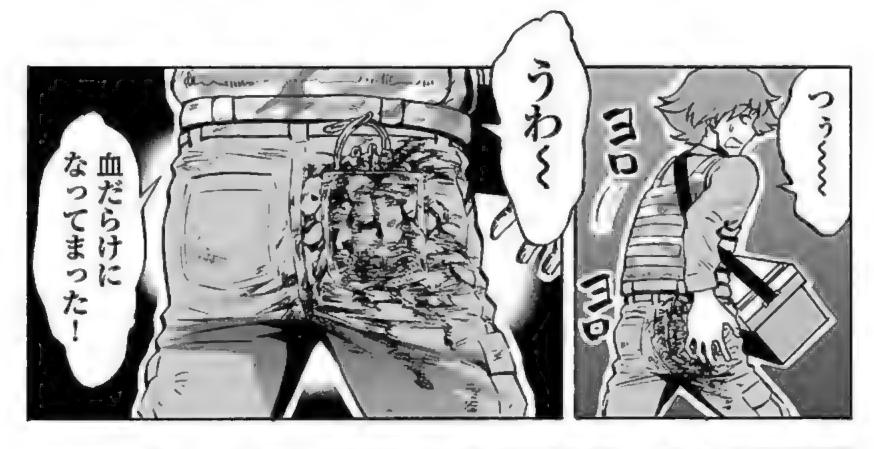




















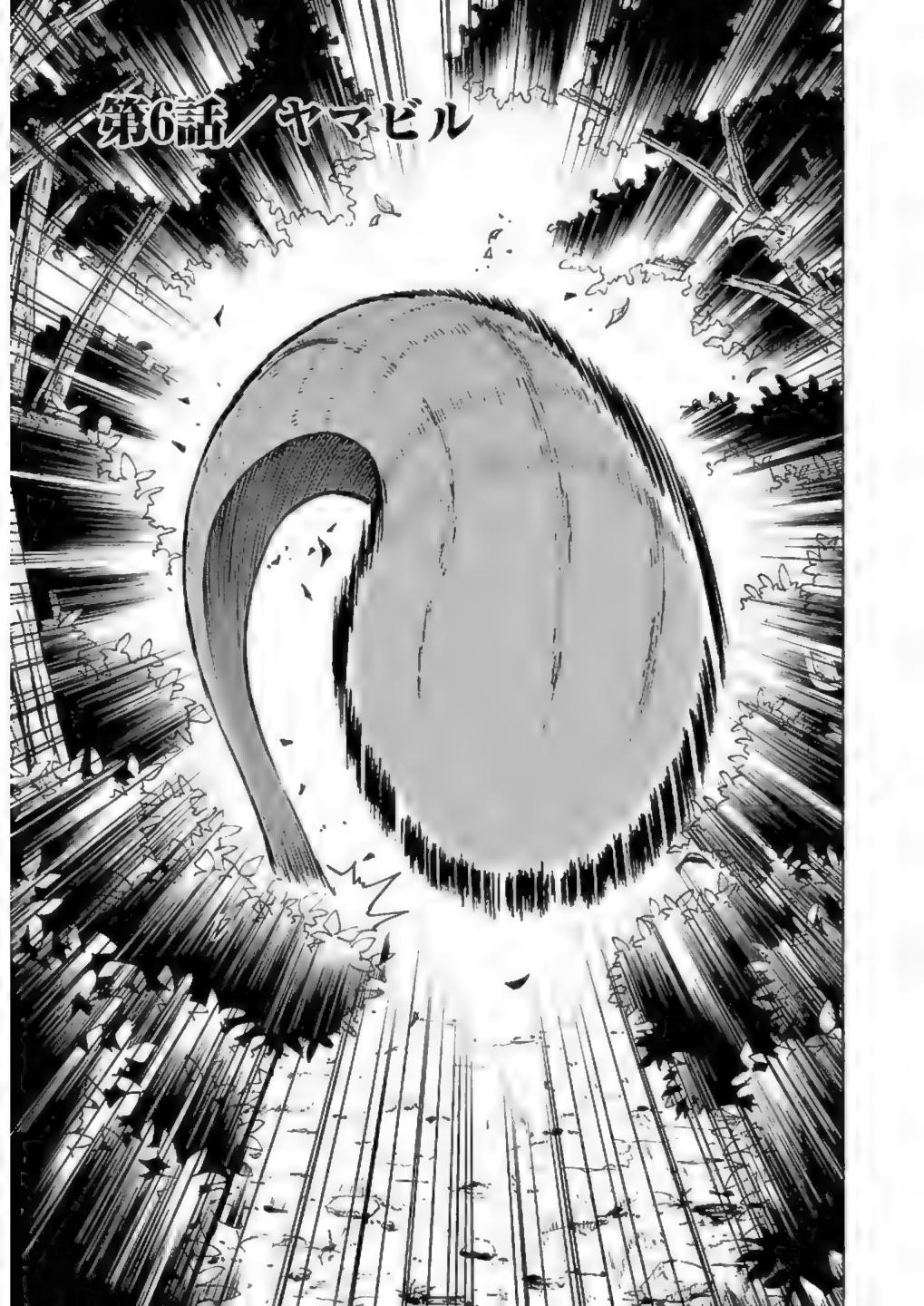














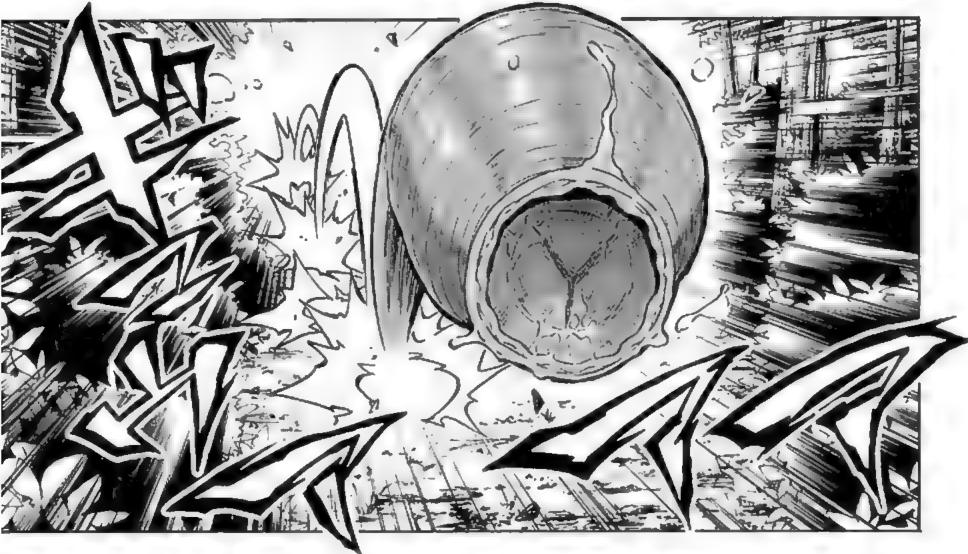






























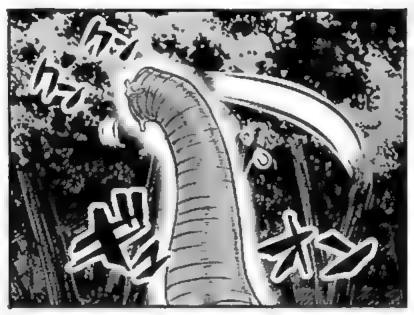






























































いやああああ







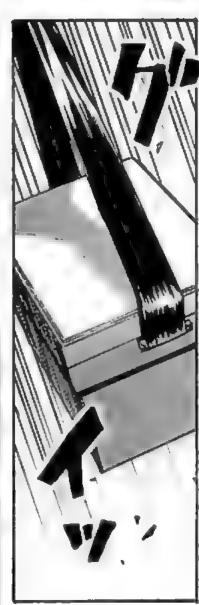






























※蟲や獣が嫌う成分が 入った薬品















































噛まれた… 帰りにちょっと



















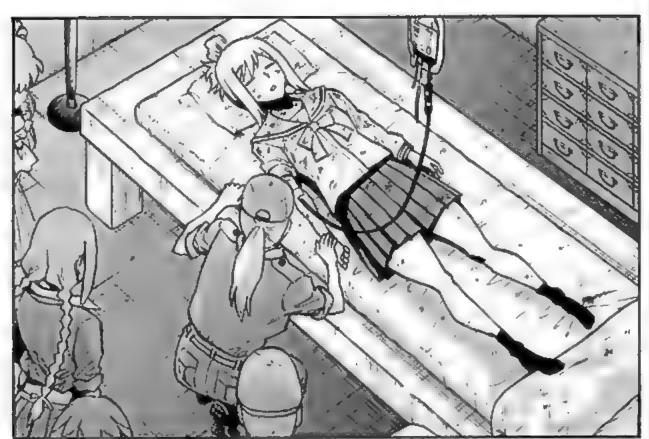


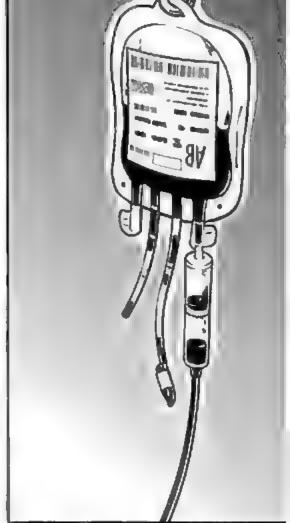


























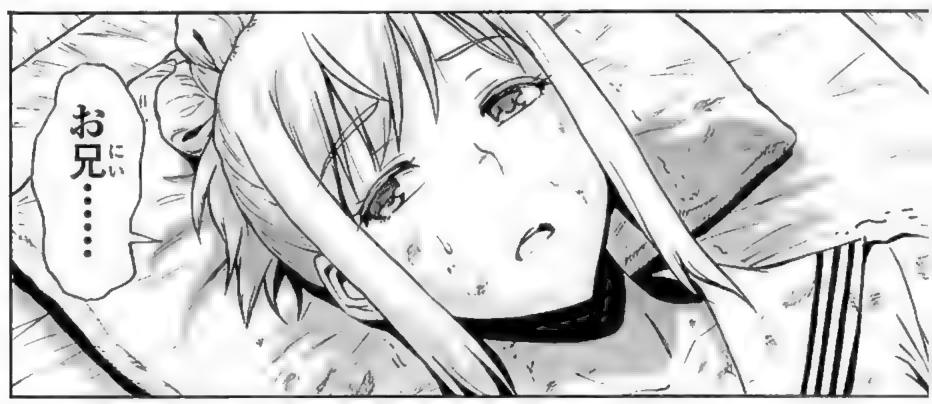












































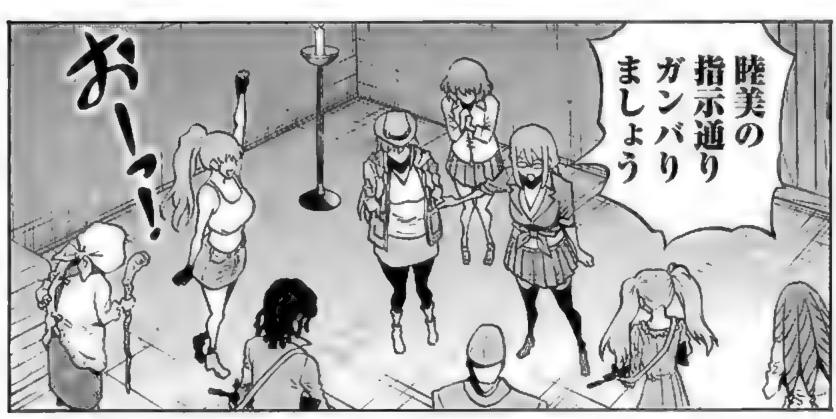
























余裕があります

まだ少しだけ



































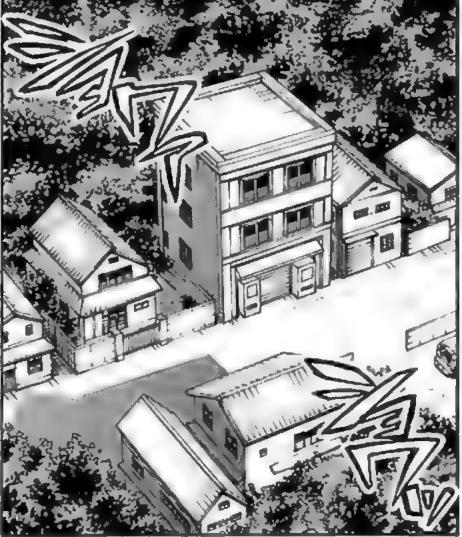








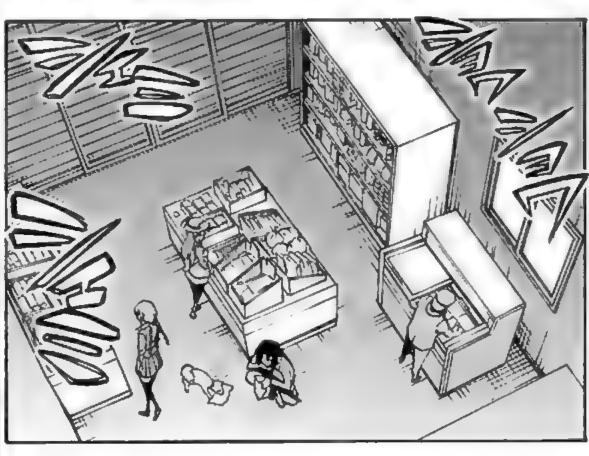
















































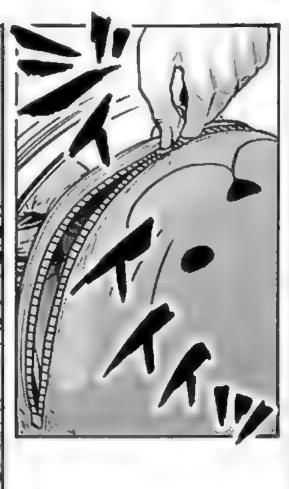


























意味や?

どういう





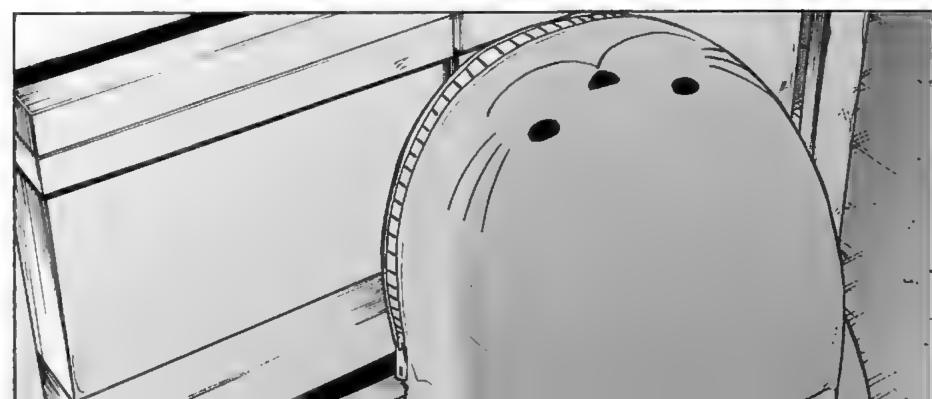


















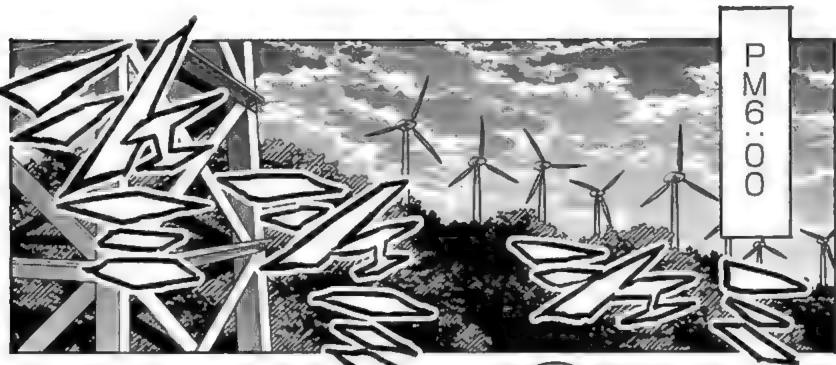




























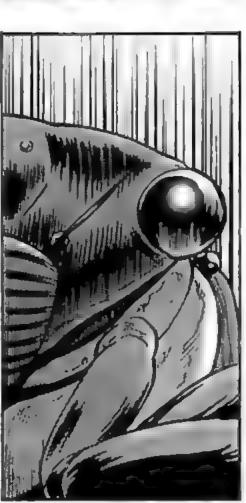






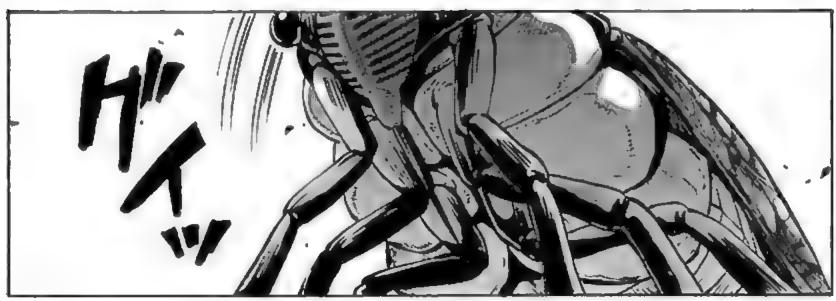






















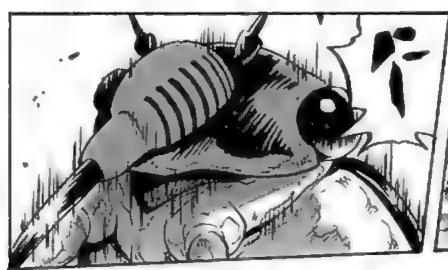






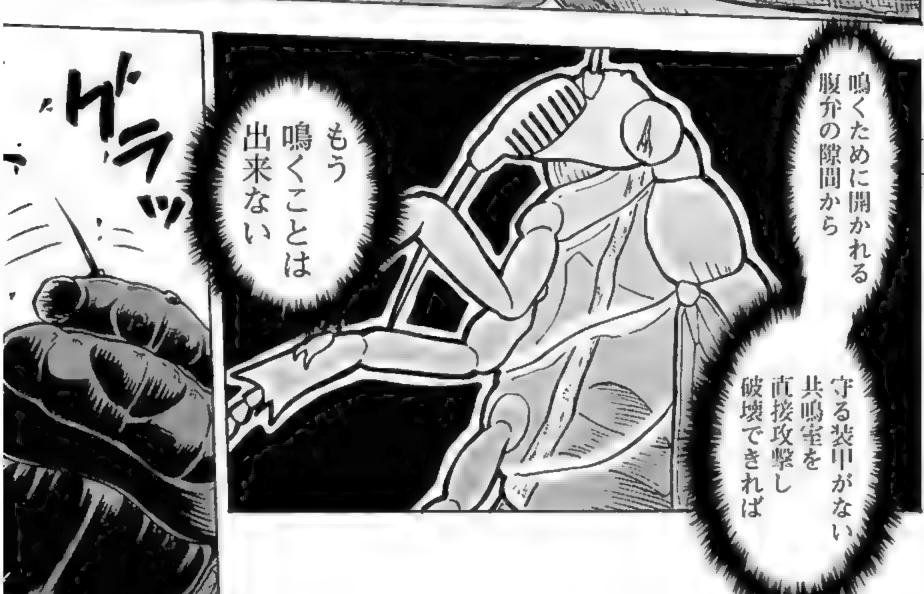








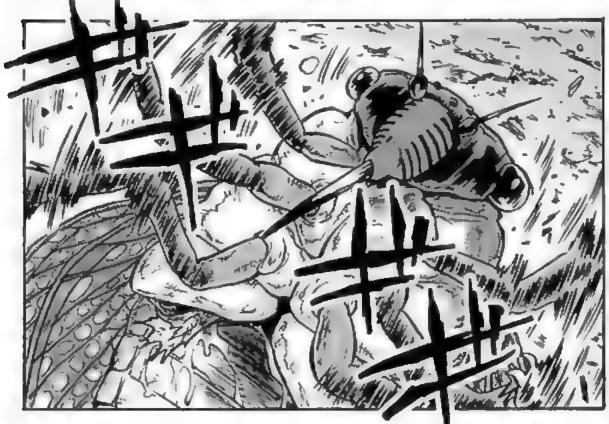










































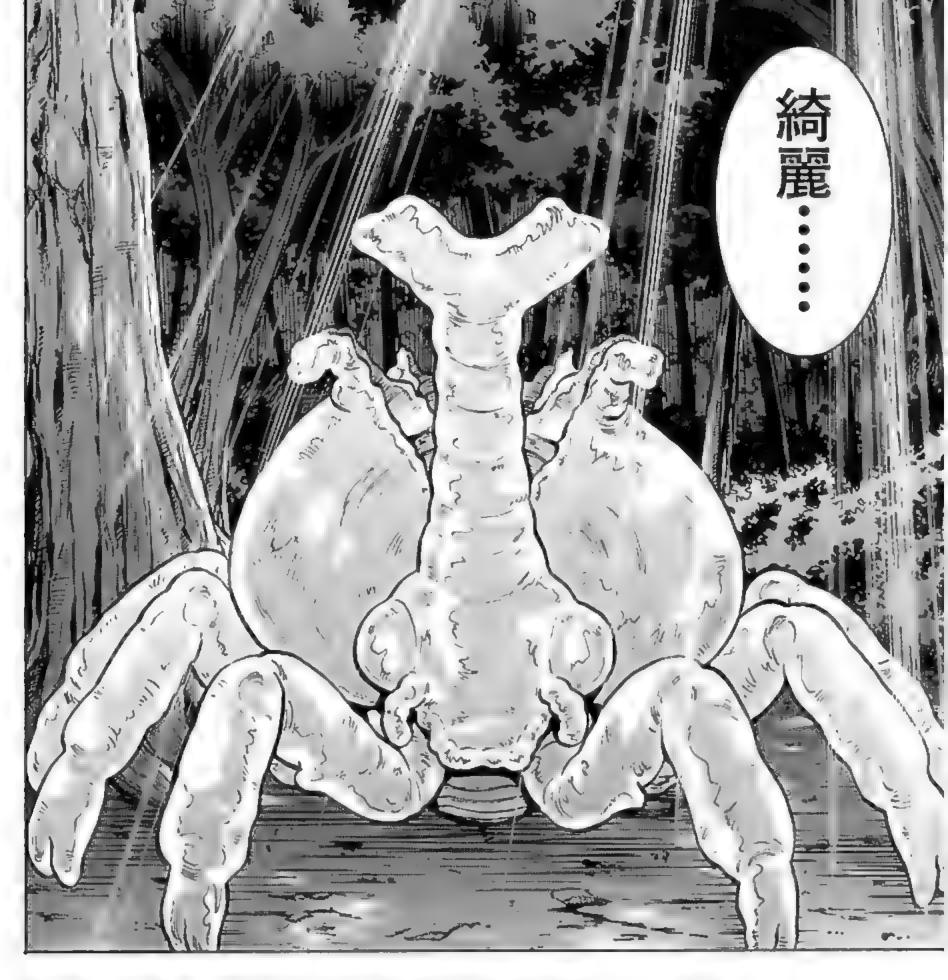




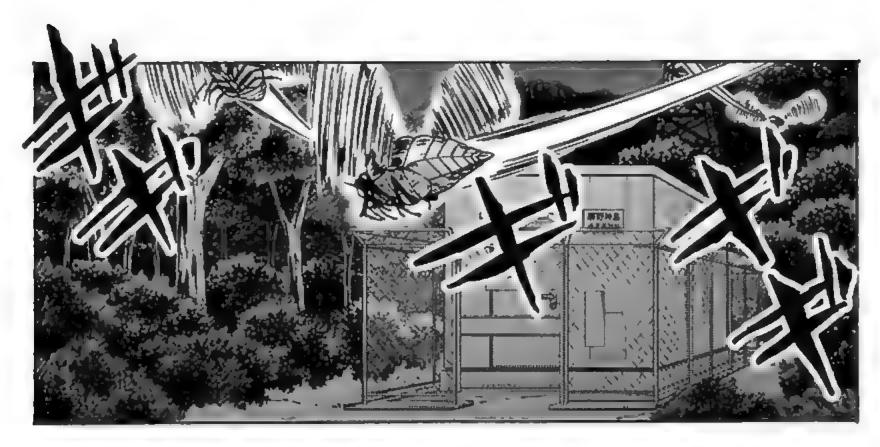
















































































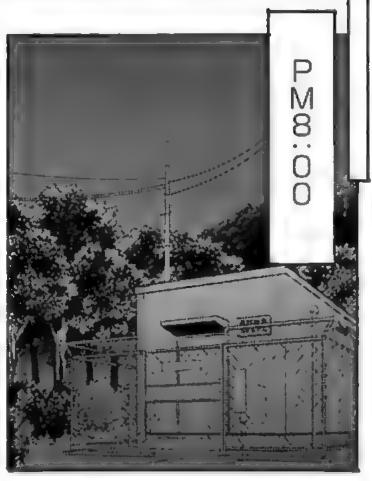
















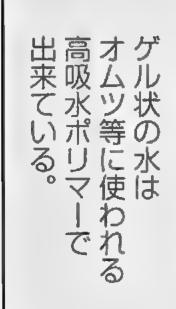
※光が強いと昼間と勘違いして鳴き出す個体が増える

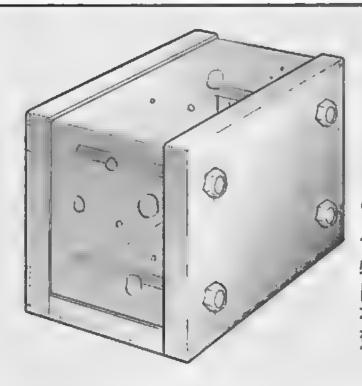












ウォーターパネル式の抑える効果が高く 液体は音の振動を液体の防音性

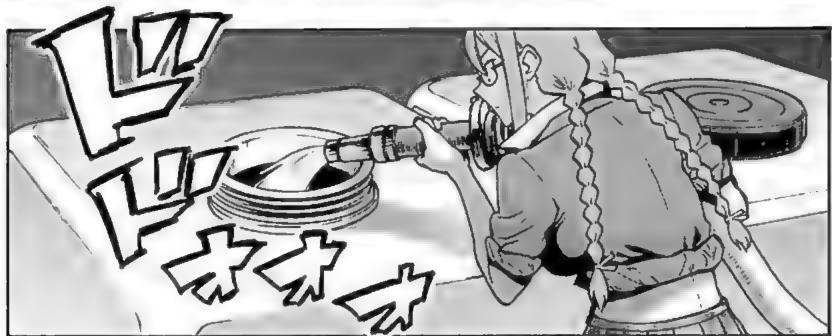
防音壁は

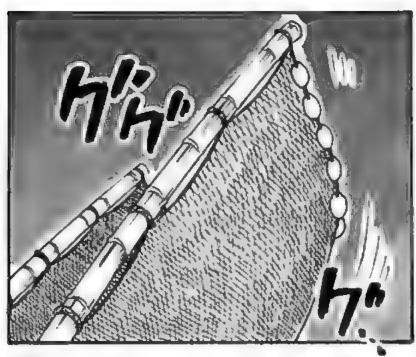
として特に有効。発生する轟音対策発破工事の際に

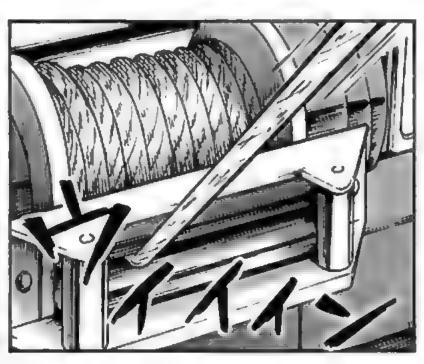


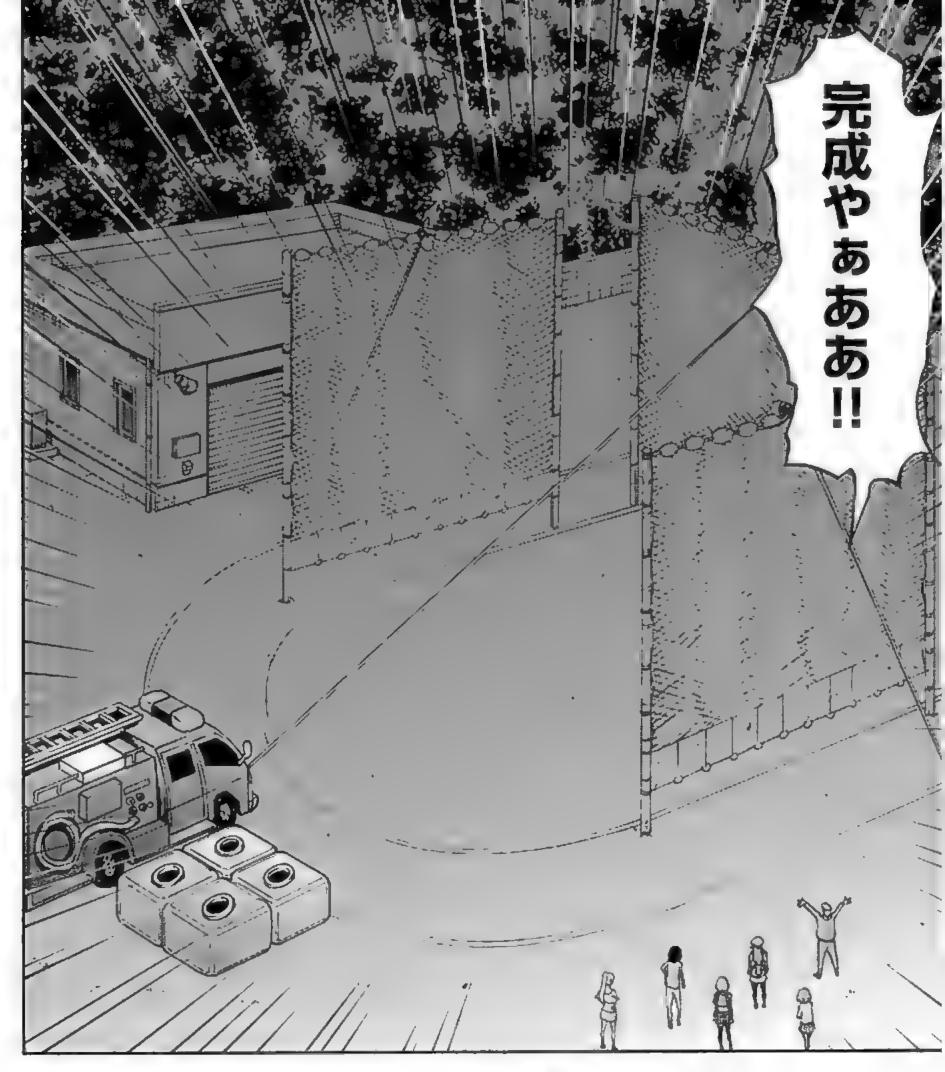
























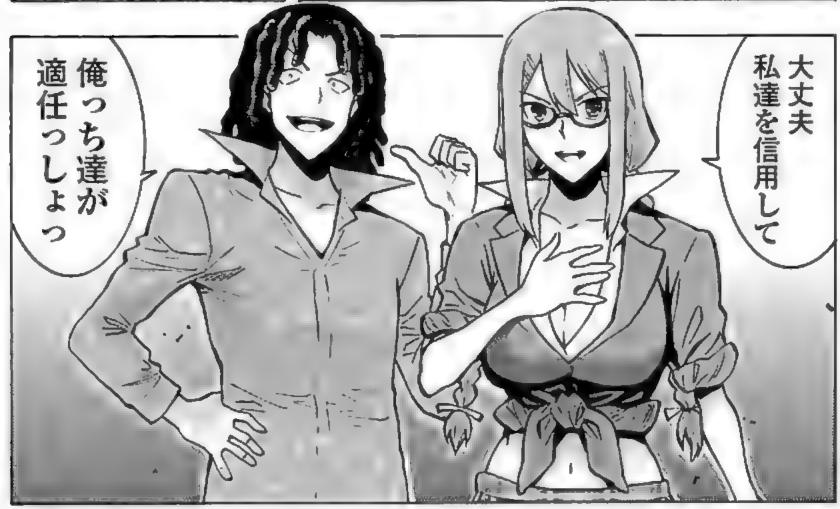












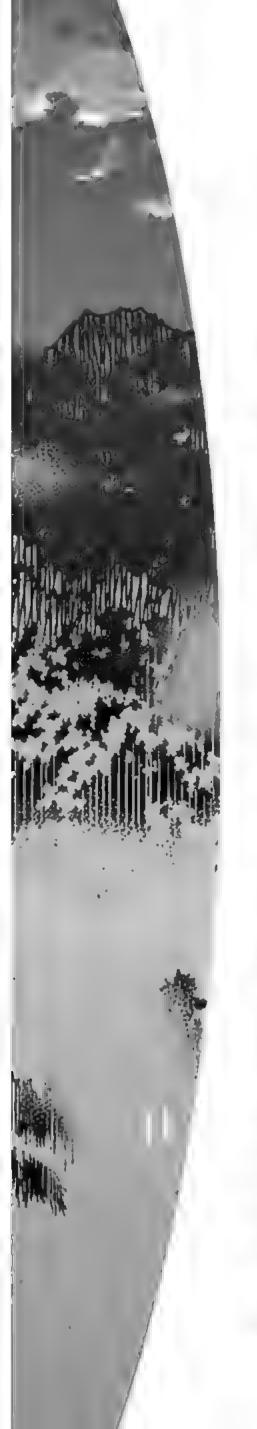








「大巨蟲列島」第②巻/完







この度は、大巨蟲列島2巻をお買い上げ下さり、誠にありがとうございますっ!!! 原作者の藤見泰高です。1巻の時にお約束した通り、「大巨蟲列島」 に登場した昆虫の情報(むしちく)をやらせて頂きたいと思います。

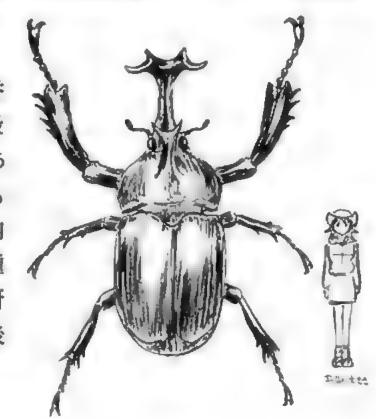
〈大巨蟲列島を楽しく読んで貰うための小話 その2〉

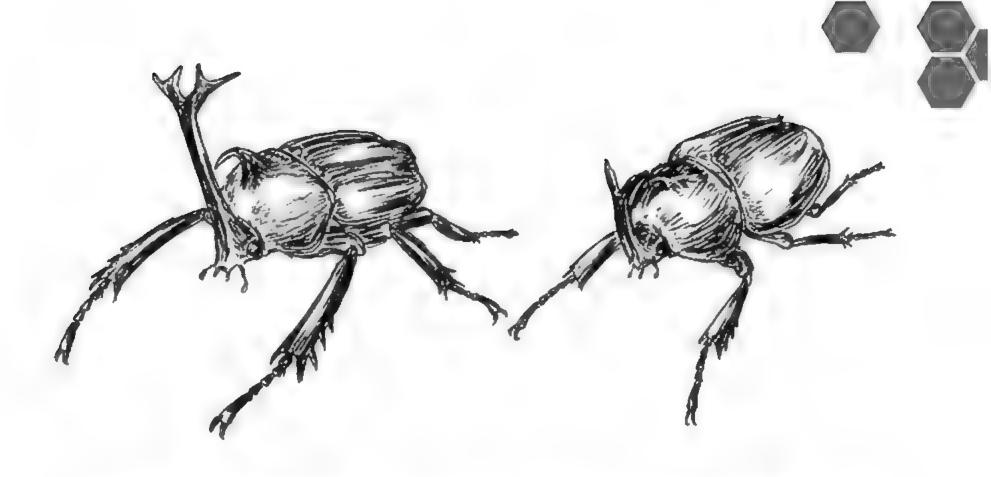
カブトムシ

遂に出ましたカプトムシですっ!僕は昆虫ライターという仕事もしており、得意としているジャンルは"クワガタムシ"です。昆虫専門誌にも藤見泰高ではなく、別のPNで記事を書かせて頂いておりました。今まで数万匹のカプトムシ・クワガタムシをはじめとする甲虫を、より大きく美しくすることを目標に飼育・取材をしてきました。このカプトムシの登場で巨蟲の秘密が徐々に明かされていきます!!

あれ…話が脱線してしまいましたが、今回登場したカプトムシの説明 に戻ります…(汗)。

カブトムシは多分、日本で一番 有名な昆虫です。大きさも国内最 大級をほこり、夏の風物詩でもあ り子供の頃に飼育されていた方も 少なくないと思います。現在、国内 で確認されているカブトムシの種 類は亜種も含めて約6種類。研 究・調査中の亜種もいるので今後 増えていくかもしれません。





今回、大巨蟲列島に登場した"カブトムシ"は、日本全土に生息する一般的によく見るカブトムシと、沖縄など*の南方に生息する"オキナワカブトムシ"を参考にデザインを考えました。

作品中のカプトムシが本物とデザイン的に大きく異なっている点は、前脚を大きく発達させたところです。カプトムシは、幼虫時代に十分なエサとミネラルを確保できない場合は、身体が小さくなるのはもちろん、戦うために必要な角さえ小さく短くなってしまいます。そこで、角が小さくなっても戦うための武器として前脚を発達させました。東南アジアの有名な3本角カプトムシ、カルコソマ属の武器でもある発達した前脚をイメージし国産カプトムシに合う形でアレンジしました。

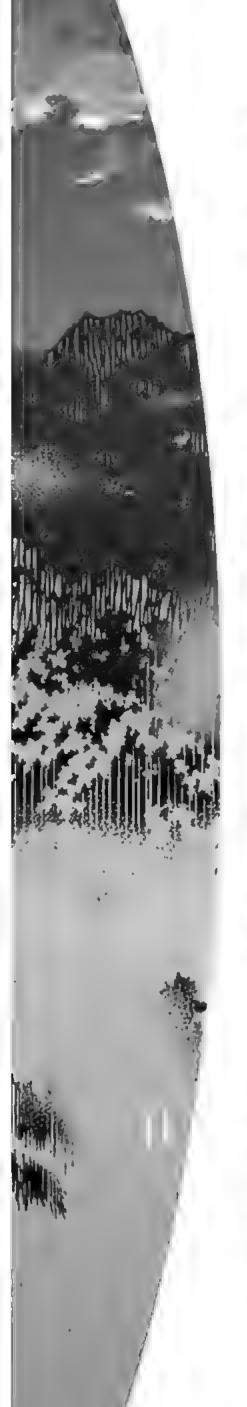
作品中に出てきた立派な角を持ったカブトムシは、十分なエサとミネラルを確保できた 個体。睦美と共に戦ってくれた"カブタン"は、成長途上の個体です。当然、島中を探しても 立派な角を持ったカブトムシは、数頭しか存在していません。

昔から、カプトムシを長生きさせるには動物性タンパクを取らせることが有効だと 分かっていたのですが、現在のように高品質の高タンパクゼリーなどが無かった ため、幼虫にドッグフードを混ぜたモノを与えたり、成虫には市販のゼリー に牛脂を混ぜたりして動物性タンパクを無理矢理食べさせているブリー ダーの方もいました。(常温で溶けない牛脂の場合は短命に終わることが多かったです) 当然、島の巨大カプトムシは動物性タンパクを豊

※カブトムシは現在、離島をのぞく日本全土に生息していますが、北海道と沖縄には人 為的に持ち込まれました。オキナワの固有亜種オキナワカブトムシとの異種交配(遺 伝子汚染)が心配されています。

富に摂取している訳ですから長生きするモノと設定してあります。





闘蟲の話

闘蟲はアジアを中心に、多くの国や地域で現在でも盛んに行われています。本来の目的は、占いや子供の遊びでしたが、現在残っているモノの多くは賭け事の対象となっています。

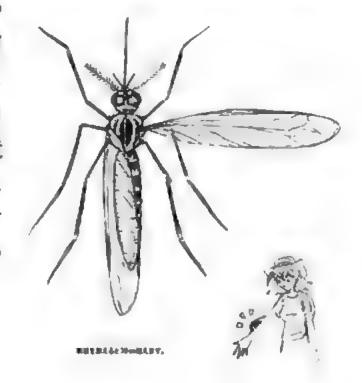
闘蟲の歴史は古く、三国志の時代には既に存在していたとも言われています。中でも、カブトムシを戦わせる闘蟲は、タイ王国を中心に多くの地域で行われています。いわゆるカプトムシ相撲なのですが、マイパンと呼ばれる蟲を操る棒を使い、巧みに相手のカブトムシを追い込んでいきます。これは本来、蟲が持つ戦闘力と人が持つ戦略と操る技術の総合力で勝敗が決まる競技なのです。作品中で睦美が2頭のカブトムシを相手に戦うことが出来たのは、他のカブトムシより総合力が高かったから勝利できたと理解して頂けると嬉しいです。

蚊

世界中で最も多くのウイルスを媒介する"運び屋"として有名な昆虫です。嫌われ者の蚊なのですが、あの小さな身体には、人体にとって有効なテクノロジーが詰まっていることが研究によって分かってきました。

僕と同じ50代前後の方なら分かると思いますが、最近の注射が子 供の頃より痛くなくなっていませんか? 気のせい? 大人になったから 慣れた? いいえ、違うんですっ! 蚊に刺されても痛くありませんよね。

アレは、蚊が小さいから痛くないのではなく、蚊の口が哺乳類に皮膚に刺さっても気がつかれないように進化したんです。現在では、蚊の口の構造を参考にして注射針が製造されています。蚊の口より注射針は太いので、多少の痛みは感じますが、昔ほど痛くなくなったのは"蚊の口の研究"の成果なのです。







他にも作中に出てきた蚊の唾液の研究により、脳や心臓に出来た血栓を溶かす薬も作られました。蚊は、まだまだ研究対象として飛ぶ能力や、あの嫌な飛ぶ音も研究されています。この先の研究により技術が発達していくことが期待されている昆虫の1つです。

医療の話が出たので、カブトムシについて

も1つ…オキナワに生息しているタイワンカブトムシ (外来種) の持つ抗菌性ペプチドが "カブトムシディフェンシン"と呼ばれ、抗がん剤としての研究も行われています。僕の過去の作品で、"昆虫の研究はお金にならないから研究されない"と書きましたが、あれから10年…今や先進技術の陰には昆虫有り…とは、言い過ぎですが、昆虫の研究は世界中で盛んに行われるようになりましたっ!

昆虫飼育をしていると"今の常識は、明日の非常識"と、言われるほど日々、昆虫の情報は上書きされていきます。数年後には食料も技術も昆虫がいないと成り立たない時代がやってくるのかもしれませんね。

蝉

セミといえば"短命"で、3日や1週間しか生きられない昆虫…と、言われてきました。しかし現在の研究ではセミ(成虫)の寿命は、約1か月あると分かってきました。なぜセミは短命だと言われてきたのかというと、飼育が非常に難しかったためです。人が研究の

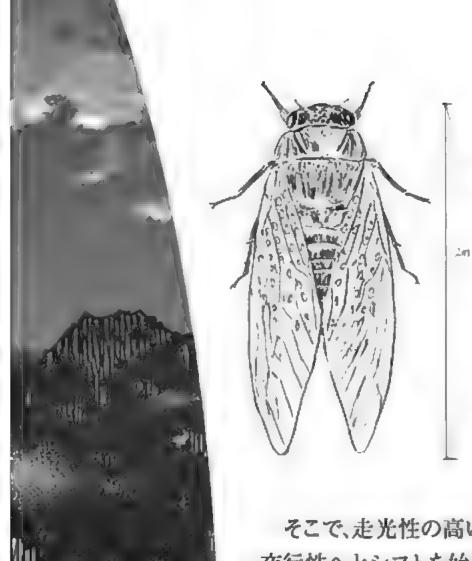
ために飼育しても上手くエサを摂取することができなかったのです。逆にエサをほとんど取らない状態で3~7日間も生きていたことになりますっ! 僕には、こちらの方が驚きの生命力に見えますっ!! 現在では羽根に、採集した場所と

日時をマーキングして放つことで、行動範囲や正確な寿命が分かってきました。

蝉の走光性

作品中ではセミの走光性を極端に強く描いていますが、それには理由があります。通常、地中で生活している昆虫も含む動物





は光を嫌う傾向が強く、明るい場所へ出すと暗い影がある方へと移動する、"負の走光性"を持つ生物が多いです。ですがセミの幼虫は6年前後の長い時間を地中で暮らしているにもかかわらず"正の走光性"を持っており、明るい場所へと移動を始めるのです。

そこで、僕は世界中のセミが生き残り戦術として幼虫時代を重視した点に目を付けました。 17年ゼミ*を始め、多くのセミたちは幼虫の時期を長くすることにより生き残ってきたのです。

そこで、走光性の高い成虫ゼミの生き残り戦術として昼間より安全な 夜行性へとシフトを始めているセミを設定してみました。

夜、目が見える昆虫は多分いません。昆虫が巨大化している島で、夜は天敵が非常に少ない状況と思われます。作中に出てくるセミたちは、生き残る為にかすかな光で夜間も見えるナイトビジョンの様な目を持たせました。選んだセミは"アプラゼミ"ですっ!幼虫時代から光に集まる走光性が高い種類を選びました。

※17年ゼミ(北米)は、その名の通り17年に一度、一斉に成虫になるという生き残り戦術を 選んだセミの仲間。

廣瀬周先生とタッグを組ませて頂き1年が経ちました。キャラクターも廣瀬先生になじみ、とてもエロかわいく描いて下さり感謝の言葉もありませんっ! それに昆虫画っ! 当初、「昆虫は描いたことがないので心配」だと廣瀬先生は仰っていましたが毎回、素晴らしい昆虫画の数々をありがとうございますっ! コレからもガンバっていきますので、大巨蟲列島を宜しくお願いいたします!!

最後まで、おつきあい下さりありがとうございました!!

[STUFF]

協力:加藤愛奈森のプロレス 曽良山調査隊の皆さん

参考文献: 中公新書「虫たちの生き残り戦略」 安富和男

